

「気候変動と人口減少時代の防災・減災－生態系減災という方法」

(日時) 2020年1月25日(土) 13:00～17:30

(場所) 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎

< プ ロ グ ラ ム >

第Ⅰ部：オープニングスピーチ

開会挨拶	日本生命財団理事長	甲斐 啓史
趣旨説明	慶應義塾大学環境情報学部教授	一ノ瀬 友博

第Ⅱ部：研究発表

「南海トラフ巨大地震による災害リスクと減災」	慶應義塾大学環境情報学部准教授	大木 聖子
「東日本大震災と南海トラフ地域の市民の環境認知と減災」	信州大学大学院総合理工学研究科准教授	上原 三知
休憩		
「海岸マツ林を将来に引き継ぐための地域ガバナンス」	徳島大学大学院社会産業理工学研究部教授 徳島大学大学院先端技術科学教育部博士後期課程	鎌田 磨人 朝波 史香
「航空レーザー測量技術の活用による海岸林の地形と樹林構造」	慶應義塾大学SFC研究所上席所員	井本 郁子
「生態系減災を実現するための計画手法」	筑波大学システム情報系教授	村上 暁信
休憩		

第Ⅲ部：パネルディスカッション

コーディネーター：	慶應義塾大学環境情報学部教授	一ノ瀬 友博
パネリスト：	総合地球環境学研究所・東京大学准教授	吉田 丈人
	環境省大臣官房環境計画課企画調査室長	岡野 隆宏
	土佐清水市長	泥谷 光信
	地区防災計画学会幹事	山中 晶一
開会挨拶	慶應義塾大学環境情報学部准教授	大木 聖子